

【津山高校】華麗なる卒業生人脈！ B'zの稲葉浩志、日弁連会長の小林元治、ANA初代社長の美土路昌一…

[猪熊建夫：フリージャーナリスト](#) 2022.12.27 4:20



人気ロックバンド「B'z」の稲葉浩志 Photo:David Livingston/gettyimages

日本を代表するロックスター 「B'z」の稲葉浩志

中国山地の盆地にある人口約10万人の岡山県津山市。松平家津山藩10万石の居城だった津山城跡のすぐ北に岡山県立津山高校がある。江戸時代半ばから蘭学、洋学が盛んで、津山高校もその伝統を受け継ぎ、個性あふれる多くの人物を輩出している。

ボーカリスト、作詞・作曲家で、人気ロックバンド「B'z」のメンバーである稲葉浩志（こうし、1964年生まれ）の名が知れ渡っている。日本を代表するロックスターだ。

稲葉は津山市内の小中学から津山高校に進み、在学中はソフトテニス部

に所属していた。横浜国立大教育学部の中学校教員養成課程（数学）に進学し、教員免許も取っている。しかし教師になるつもりはなく、大学進学した後の85年頃から歌手を目指して活動した。

そこからほぼ一直線で、スターの座を登り続けた。オリコン主催の「男性が選ぶ“なりたい顔”ランキング」（芸能人全体）では、毎年10位以内に入り、2019年などは1位にランクインした。音楽専門誌『Player』の「ベストボーカリスト」調査では1位になることもある。

谷口博章は兵庫県西宮市役所の職員にしてアマチュアピアニストだ。11年には、西宮市からの派遣職員として東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町に赴き、ミニコンサートを開催したりした。

大正・昭和時代のソプラノ歌手で、東京高等音楽学院（現国立音大）の創立に参画した武岡鶴代もいた。新制津山高校の前身の一つである旧制岡山県立津山高等女学校の出身だ。

福田ひかりはピアニストで、現在は古楽器の啓蒙活動を積極的に行っている。

津山高校の元音楽科教諭の秋山貴はOBで、「津山第九を歌う会」の会長だ。父・保は津山中卒で美術の教員、母・幸子は旧制津山高女卒で音楽の教員だった。娘・幸は津山高校卒で洋画家だ。親子3代にわたり同窓、というわけだ。

三原重夫はドラマーで、現在はドラムインストラクターの仕事もしている。80年代にはロックバンド「ローザ・ルクセンブルグ」の一員として活躍した。

【津山高校】華麗なる卒業生人脈！ B'zの稲葉浩志、日弁連会長の小林元治、ANA初代社長の美土路昌一…

[猪熊建夫：フリージャーナリスト](#) 2022.12.27 4:20

メディア・芸能関係では、声優の大塚芳忠（ほうちゆう）がいる。「NARUTO」自来也役、「鬼滅の刃」鱗滝左近次役など人気作品のキャラクターを数多く演じている。

司会者・フリーアナウンサーでエス・オー・プロモーション会長の押阪忍、女優の神楽坂恵、フリージャーナリスト・評論家の工藤雪枝、気象予報士の中島望らが卒業生だ。

宝塚歌劇団花組トップ娘役から舞台女優になった桜乃彩音は、宝塚音楽学校に入るために津山高校を中退した。

土屋尚士は、多くの企業CM作品を手がけるアンデスフィルム（本社・東京港区）の代表だ。佐古彰彦はフリーのCMディレクターだ。

頃安（ころやす）祐良は、映画監督だ。日芸（日本大学芸術学部）出身で、学生時代から自主映画を多く手がけた。

OBの経営コンサルタント（津山街デザイン創造研究所所長）の山本昇は21年1月に『小説岡山県立津山高等学校』を著したが、この小説を原作に頃安は『十六夜の月子』という映画を製作、21年2月に公開された。

西澤晋は、アニメの『ゴルゴ13』などの絵コンテや、作画監督を務めている。

NHKの連続テレビ小説ロケでも 使われた旧本館は重要文化財

城下町・津山の市域東部は重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、洋学資料館もある。日本史の授業で、宇田川榕菴、箕作阮甫などの洋

学者の名を知った人も多いのではないか。

多数の蘭学者、洋学者を生んだこの地に、県津山尋常中学校が開校したのは1895年だった。その後、津山中学校と改称された。戦後の学制改革の過程で津山高等女学校を前身とする津山女子高校と合併し、男女共学の新制県立津山高校となった。

2015年度からは中学校が併設され、中高一貫教育校になっている。旧制以来の卒業生数は、累計で4万人を超える。

校訓は「畏天敬人」。その意味は「悠久な自然の摂理に思いを致し、自他共に敬愛する」と説明されている。

教育方針として、「人間形成」「真理追究」「社会貢献」の3つを、掲げている。

「名も美作のうまし国…」で始まる校歌の作詞者は、旧制津山中卒で英文学者・詩人の矢野峰人。戦後に東京都立大学長、東洋大学長をした人物だ。

今も使われている旧本館は、1995年に国指定の重要文化財になっている。イタリアのルネサンス様式をモデルとした端正な外観で、1900年に落成した。東京・上野に現存する旧東京音楽学校（現東京芸術大学）奏楽堂とうり二つだ。

旧本館は、NHKの朝の連続テレビ小説『あぐり』や『カーネーション』のロケ現場として使われたことがある。

茨城県立土浦第一高校（土浦市）の旧本館も、国指定の重要文化財になっているが、旧制中学校の校舎が重要文化財に指定されているケースは、全国でもまれだ。

【津山高校】華麗なる卒業生人脈！ B'zの稲葉浩志、日弁連会長の小林元治、ANA初代社長の美土路昌一…

[猪熊建夫：フリージャーナリスト](#) 2022.12.27 4:20

津山高校の校地には、十六夜山古墳と呼ばれる前方後円墳もある。歴史の重みを感じさせる高校だ。

文科省から12年度以来、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている。22年度からは3期目の指定を受けた。

普通科5クラス、理数科1クラスがあり、3学年の全校生徒約720人を対象に、米国の大学訪問など海外研修やサイエンス探究、英語での成果発表会などさまざまなプログラムが組まれている。

全国物理コンテストで銅メダルを獲得した生徒や、「アジアサイエンスキャンプ」の日本代表団に選ばれた生徒もおり、成果が着々と現れている。文科省によるSSH中間評価で「モデル校として期待される」と高い評価を得ている。

地理的な制約から、大学進学時には生徒のほとんどが親元を離れる。22年度入試（22年4月入学）では現役・浪人合わせ京都大6人、東京工業大1人、大阪大5人、神戸大9人、岡山大に35人が合格した。さらに日本海側の鳥取大に16人の合格者を出している。

現役で国公立大に合格したのは、計157人だった。22年春の卒業生総数は229人だったので、その比率は69%になる。全国的に見てこの比率は、すこぶる高いといえるだろう。

学者・研究者として活躍する卒業生たち

洋学の伝統が脈々と息づいているためか、学者・研究者として活躍している卒業生が多い。

知名度が高いのは、日本近世史が専門の東大史料編纂所教授・山本博文だ。「江戸学博士」といわれ、武士の行動様式や日本人のメンタリティーなどについて、わかりやすい概説書を多数、出版している。

92年に萩藩毛利家の江戸留守居役の活動を描いた『江戸お留守居役の日記』で、日本エッセイスト・クラブ賞を受賞した。テレビ出演も多く、一般に親しまれていたが、20年3月に63歳で急死した。

メディアによく登場する学者が、もう一人いる。京大教授・同大附属防災研究所火山活動研究センター長（火山物理学）の井口正人だ。鹿児島・桜島を拠点に長年にわたって研究を続けおり、「桜島のホームドクター」といわれる。日本火山学会会長を務めたこともあり、地震や火山の爆発があると、井口のメディアでの出番が増える。

文系では、日本大学危機管理学部教授の福田充が、テロや群衆事故があると、メディアにコメントを求められる機会が多い。

増田美子は元学習院女子大教授で、日本服飾史を研究している。

青山学院大教授をした三村優美子は、流通問題の専門家で、「街なか再生」などに取り組んでいる。

中国政治学の天児慧、宗教学の宮家準、環境社会学の松野弘、行政法の神橋一彦らもいる。

旧制時代の卒業生では、哲学者でアリストテレスの研究をした出隆、西洋経済史の本位田祥男、イタリア文学の黒田正利らがいた。

【津山高校】華麗なる卒業生人脈！ B'zの稲葉浩志、日弁連会長の小林元治、ANA初代社長の美土路昌一…

[猪熊建夫：フリージャーナリスト](#) 2022.12.27 4:20

理系では、平井啓久が京大教授・同大霊長類研究所長を務め、ゲノムマーカーを用いた霊長類の分子細胞遺伝学を研究している。

地質学の藤原治は、東海地震の地殻変動などを研究している。

小坂田ゆかりは京大防災研究所の助教で、豪雨現象のメカニズムを研究する気鋭の学者だ。

熱工学の赤松史光、河川生態学の可児藤吉、航空力学の佐々木達治郎、環境学の杉山雅人らもOBだ。

医学・生理学者では、元東大医学部形成外科・美容外科教授の光嶋勲が微小な血管をつなぐ技術の第一人者だ。岡山市立市民病院の院長の松本健五、精神保健学の川上憲人らもいる。

旧制卒では、東京・神田の名門である杏雲堂病院の院長をした佐々廉平、衛生学が専門で熊本医大（現熊本大医学部）学長をした太田原豊一、生理学者の福田邦三がいた。

歯科医の豊福恒弘は津山市内で「M&Y記念館」を開設し、版画家・棟方志功の作品を展示している。

外科医の林同輔は津山中央病院院長を務め、医師の働き方改革に努め、当直時間の扱いの改変などを実行した。

漫画家、俳人、彫刻家など 文芸・美術分野にも多士済々

文芸では、大正・昭和期の小説家・片岡鉄兵と棟田博、文芸評論家の井汲清治、編集者の岩本敏が卒業生だ。

漫画家の胡桃ちのは、前述の稲葉の1学年後輩で、4コマ漫画が得意だ。常に10誌前後の雑誌で連載を持ち、すべての雑誌で違うキャラクター、違う作品を連載している。郷里の津山を舞台にした作品もある。

西東三鬼は伝統俳句の発想を嫌い、モダンな感性を強調した昭和期の新興俳句運動の中心人物の一人だった。旧制津山中学から東京・青山学院中等部に転校した。

俳人といえば、大谷是空は津山藩校で教育を受け、明治期に東京大学予備門に入学、正岡子規（愛媛県立松山中学・現松山東高校中退）らと親交を結んだ。津山尋常中学校創立に際し、教員として赴任した。

楠かつのりは音声詩人で、自分のことばを声にして伝え合う競技「詩のボクシング」を97年に創始した。日本朗読ボクシング協会代表だ。

美術では、彫刻家の久原濤子、洋画の水野恭子が旧制津山高女卒だ。

洋画の木村克朗と田淵隆三、抽象画の保田扶佐子もOB・OGだ。

松井陽子は水墨画で頭角を現した。福西雅之は陶芸家だ。

【津山高校】華麗なる卒業生人脈！ B'zの稲葉浩志、日弁連会長の小林元治、ANA初代社長の美土路昌一…

[猪熊建夫：フリージャーナリスト](#) 2022.12.27 4:20

全日空の初代社長や 日弁連会長もOB

企業の創業者も輩出している。美土路昌一は日本ヘリコプター輸送を設立、極東航空と合併して全日本空輸の初代社長となった。その後、朝日新聞社社長を務めた。

早嶋喜一は産業経済新聞社社長の後、旭屋書店を創業した。

落合完二は八洲電機商会（現八洲電機）を、池上勝はインナーウェアをネットで販売する「白鳩」を創業した。

日下康幸は、IT起業家の一人で、ソフトウェアの研究開発などのアストロラボの創業者で代表だ。

さらに企業経営者では現・元職が交じるが、小林充佳（NTT西日本）、高下貞二（積水化学工業）、野口憲三（日本紙パルプ商事）、中島純三（日立国際電気）、塚原淳一（東芝ライテック）、竹内俊一（三菱石油、現ENEOSホールディングス）、石原建男（モロゾフ）、松尾均（はとバス）らが卒業生だ。

華鐘コンサルタントグループ董事長の古林恒雄は中国にわたって三十余年、日中間のビジネスの橋渡しを続けている。

労働運動華やかなりし昭和期の運動家で、総評議長をした太田薫が卒業生だ。旧制津山中一旧制六高から大阪大に進み、宇部窒素（現宇部興産）の技術者になったが、労働界に転身して春闘方式を定着させた。

法曹界では、22年4月から日本弁護士連合会の会長に就いた小林元治がいる。津山高校から中央大法学部に進んだ。小学校の夜間警備の仕事で生

計を立て、司法試験に合格した。

頃安健司は元大阪高検検事長で、現在は弁護士として活動している。

政官界では、運輸官僚出身の佐々木建成が新東京国際空港公団副総裁、日本ナショナルトラスト理事長などを歴任した。

谷口圭三は、18年2月から津山市長だ。県北の雄都・津山の再興に努めている。

太田昇は13年4月以来、真庭市長だ。京都府副知事を経て就任した。木質バイオマス事業を推進し、国内外から多数の視察団が訪れている。

96年卒の佐藤香里は東京外国語大外国語学部スペイン語学科卒で、在エクアドル日本大使館に勤めた。エクアドルの児童養護施設「子どもの家」存続のため活動資金集めに奔走した。

スポーツでは、臀部を着けたままボールをつなぐシッティングバレーボール選手の菊池智子がOGだ。12年ロンドン、21年東京の両パラリンピックに出場した。

ダンサーの野村直人は、22年の日本インターナショナルダンス選手権大会のプロラテン部門で優勝するなど、各種大会で好成績を収めている。

62年卒の山本茂樹は、世界ベンチプレス選手権大会で4年連続して優勝し、75歳にして170kgという世界記録を樹立した。

児玉裕輔はフリーのプロレスラーで、全日本プロレスや大日本プロレスに参戦している。

旧制津山中時代は、「白帯津中」の名で柔道部が全国優勝を7回している。照尾暢浩は津山高校で寝技を得意とし、その後、空手やさまざまな武道を経験し、護身術の指導者になった。（敬称略）

（フリージャーナリスト 猪熊建夫）